

2020年度 看護学部 FD 活動報告

2020年度の看護学部 FD 活動として、研修会、授業及び実習アンケートの実施、アンケート結果に基づく教員表彰、授業見学を実施した。また、コロナ禍における遠隔授業のサポートを行った。以下、主な活動について報告する。

1. FD 研修会

- ・教員の研究活動を活性化するために、3月8日～3月12日に看護学部教員研究発表会を開催した。Teams 上で17件の演題が発表され、閲覧期間中教員間で活発な質疑応答が行われた。
- ・3月10日に、FD セミナーを Teams で開催した。セミナー内容は、「コロナ禍での授業/演習・実習運営に関する情報共有会」とし、各専門領域から8名の教員による今年度の授業や実習運営に関するプレゼンテーションと質疑応答を行った。教員の参加率も高く、有意義な研修会を開催することができた。

2. 授業及び実習アンケートの実施、アンケート結果に基づく教員表彰

- ・授業アンケートは、学生への目的や倫理的な配慮の説明の強化、QR コードの導入を継続し、実施した。授業アンケートの回答率については、特に後期が低かった。例年、後期は前期より回答率が低値となるうえに、コロナ禍でほとんどの科目においてオンラインでの回答であることが、回答率の低さにつながったと考えられる。後期科目で回答率が高かった科目では、授業内で回答時間を設けていた。来年度は、可能な限り、授業内での回答を依頼する。
- ・学部独自の实習アンケートを例年通り実施した。前期の一部の科目で、Moodle での回答を実施したが、回答率が思わしくなかったため、従来通りの紙媒体での回答を主としつつ、Moodle も併用できる体制とした。前期・後期の2回、学生に対してアンケート結果と教員コメントのフィードバックを実施した。
- ・授業及び実習アンケート結果に基づき、教員表彰を行った。

3. 授業見学の実施

- ・前期及び後期に、学部内で授業見学を実施し、実施後の調査を行った。本年度は、主に Teams や Moodle を使用したオンラインでの授業見学を行った。後期は、一部対面での授業見学も実施した。授業見学数は、総見学数が277回（前期168、後期109）であった。オンラインでの授業見学であったため、場所を選ばず参加しやすかったこともあり、活発な見学が実施できていた。

4. 遠隔授業のサポート

- ・各関係部署と連携し、学内の ICT 環境の積極的な活用を図った。例年実施している新任教員を対象とした Moodle 操作の研修会が開催できなかったため、新任教員への Moodle 操作については、FD 委員が個別にサポートを行った。ICT を活用した授業準備に向けて、看

護学部生及び教員用マニュアルを作成した。Moodle 上に教員用の模擬コースを作成し、授業トピックの参考例を掲載した。色々なパターンの授業形態での参考例が掲示され、それらを教員間で共有し、自由に個別質問しながら授業準備ができていた。マニュアルの作成や模擬コースの作成は、FD 委員だけでなく以前より ICT を活用している教員や遠隔支援 WG の協力を得て実施した。特に、前期授業の準備や開始直後の各教員へのサポートに労力は要したが、授業運営において大きなトラブルは発生しなかった。